

## 施設紹介

医科大学が果たす役割・使命は、医療の中核的病院としての地域社会の要請、医療技術の進歩等に伴い、社会的重要性は一層高まりつつある。なかでも、高度医療機関かつ医育機関として、充実した機能を備えた大学施設等が、新時代を担うものとして強く望まれている。本誌では、新・増築された協会加盟各大学施設を順次紹介している。

## 関西医科大学

## リハビリテーション学部棟竣工



関西医科大学リハビリテーション学部棟外観

関西医科大学は、2021年4月1日にリハビリテーション学部（理学療法学科・作業療法学科）を開設しました。

その学び舎となるリハビリテーション学部棟は、2019年10月に起工し、2021年2月に竣工しました。鉄筋コンクリート造、地上6階建て、延べ床面積5,458平方メートルで、リハビリテーション学部の講義・演習・実習の場となります。

本棟は関西医科大学創立の地である牧野キャンパスに位置し、旧本館のイメージをエントランスに継承、内部には120名を収容できる大講義室、パソコンおよび可動式の机と椅子を配備し、学生同士の学び合いの場として開放するラーニングコモンズ、最新の機器設備を備え、ロボット技術や三次元動作解析を始めとした最先端のリハビリテーション医療に触れる実習室などを備えています。

既存の医学部・看護学部との合同授業や本学附属病院群との連携により、リハビリテーションに必要な実践教育を行い、高い倫理観と幅広い見識、優れた技量を持った理学療法士及び作業療法士を育成いたします。



理学療法演習室



作業療法演習室

# 岩手医科大学

## 臨床研修医等宿舎「Resident Heim（レジデントハイム）」竣工



「Resident Heim（レジデントハイム）」外観

2021年3月、岩手医科大学は、医師確保および医療人材の育成を図るため、臨床研修医等宿舎を整備しました。

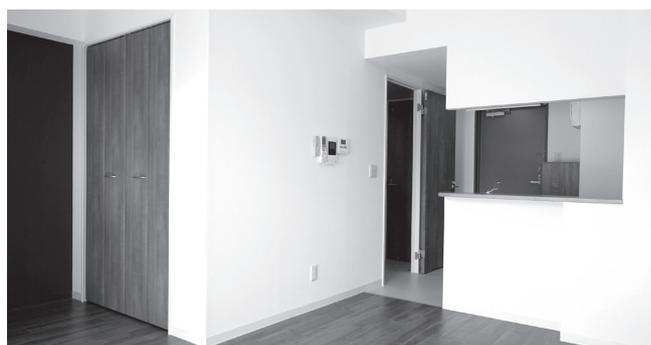
医師臨床研修制度は、2004年から始まり、これまでの17年間に本学附属病院の臨床研修プログラムから巣立った医師は約180名を数えますが、超高齢化が進む北東北では、医師の充足には、まだまだ程遠い状況にあり、更なる医師の確保が求められています。

本学では、2019年秋に附属病院を新築移転し、高度医療を担うにふさわしい最先端の医療環境を整備しました。今般、同病院に隣接し整備した本宿舎は、臨床研修医のみならず、専門研修医等、広く若手医師の利用を可能としており、特に臨床研修医については、県立病院等に所属する研修医の短期受入れも行っています。本宿舎整備が契機となり、これまで以上に多くの臨床研修医等がこの地で豊富な経験と研鑽を積み、近い将来、本学並びに地域医療の発展に大いに寄与することが期待されます。

また、本宿舎は今後の医師の働き方改革におけるタスクシフトの推進を視野に認定看護師や特定行為の研修課程を履修する高度看護研修センター研修生も利用することとしており、当該看護師の普及により、北東北の医療提供体制の充実にも繋げてまいります。

### 【建物概要】

構造	鉄筋コンクリート造 2階建
室数	30室（院外研修医用3室）
間取	1ルーム（12帖）
設備	各室テンキー錠、インターネット 他



リビング



キッチン

# 順天堂大学

## 医学部附属練馬病院 3号館新設と90床増床



練馬病院3号館（手前の連絡通路で1号館と繋がっています）

練馬病院は2021年4月に増床が完了し、新たに490床でスタートを切りました。

従来の練馬病院は、病床400床を95%超の病床稼働率で運用しており、地域の基幹病院としての当院の増床は練馬区、そして周辺の医療機関から強く要請されていました。

今回の再編事業のポイントは、下記の通りです。

①3号館を新設し、1号館の外来診察室、医局、化学療法室などを移設の上、拡張しました。2019年12月～2020年1月の年末年始6日間で3号館に外来機能を移設、1月4日より通常の外来診療を開始しました。

続けて②1号館を改修および病床90床の増設工事に着手した頃、COVID-19の流行が始まりました。COVID-19陽性患者の受入・治療と、大規模改修工事は、非常に難易度の高い課題でしたが、診療機能を維持しながら工事を進めることができました。

2021年4月1日には90床増床となった1号館の③救急外来の拡張、感染対応陰圧室の増設、手術室の増室、「小児周産期センター」としてNICU/

GCU、カイザー手術室、無菌病室の新設、新生児科・心臓血管外科・歯科の新設、という大規模な改修が終わり、診療機能が大幅に拡充できました。

今後はMRIの更新、心臓血管外科手術・ハイブリット手術室の新設等が残っていますが、第2の開院を迎えた練馬病院として、滞りなく完成を迎えるべく病院スタッフ一丸となり邁進してまいります。



1号館4階「小児周産期センター」  
NICU/GCU ベッド周り

# 帝京大学

## 先端総合研究機構棟の竣工



先端総合研究機構棟外観

2021年4月、帝京大学は様々な社会的課題の解決を通じて社会に貢献していくための全学的な中核研究組織として「先端総合研究機構（Advanced Comprehensive Research Organization 略称：ACRO）、機構長：沖永佳史」を創設致しました。機構は、4キャンパス 10学部 11研究科を抱える総合大学である帝京大学の力を結集し、オリジナリティ溢れる研究成果を創出していくものであり、一つの拠点となる帝京大学先端総合研究機構棟が2021年3月に竣工致しました。

### 【組織概要】

機構には本学の特徴や強みを活かした「健康科学」や「社会連携」といった部門、これからの時代を見据えた「オープンイノベーション」や「AI活用」といった部門等、重点研究分野毎に8つの部門が置かれます。創設時点では19の研究チームがこれら部門との関わりの中で、各々の研究を活性化させていきます。今後も、様々な人と交流できる新たな研究の場、社会的課題の解決を目指す場、将来的に学生の皆さまが必要とする「力」を身に付けられる学びの場として内容を充実させていきます。

### 【建物の特徴】

機構における研究の中心は文理融合型の学際的な連携研究です。このため機構棟は様々な研究ニーズに柔軟に対応できるよう、ラボの「壁」を取り払った、オープンラボを基本としています。また、パーソナルラボ、共通機器室等の共通スペースも充実しており、新たな価値の創出等が期待されます。

### 【小動物用 MRI】

機構棟の動物実験施設には、小動物用 MRI 装置（BioSpec 3T）が導入されます。同装置は、小型ながら解剖学的画像から fMRI 等の機能的画像を短時間で取得できるものとなっています。



小動物用 MRI イメージ

# 愛知医科大学

## メディカルセンター開院



メディカルセンター外観

愛知医科大学では、医療法人愛整会北斗病院の事業承継により、令和3年4月1日に「愛知医科大学メディカルセンター」を開院いたしました。

北斗病院では西三河南部東医療圏の岡崎市北部・豊田市南部地域において、整形外科を中心とした回復期の入院医療を展開、地域密着型病院の理想像を目指して、岡崎市北部の地域医療の拠点となり、救急のみならず、高齢者医療に対する地域包括ケア事業など 地域密着型の医療を積極的に展開してきました。

愛知医科大学メディカルセンターでは、メインコンセプトとして「Family Medicine（地域医療サポート）」を掲げ、従来の地域医療に加え大学病院として専門性の高い医療を提供することにより、今後の医療需要である内科疾患を中心とした高齢者疾患の救急ニーズ、並びに急性期後の Sub-acute 及び Post-acute 患者へのリハビリニーズ、複数疾患を有する高齢患者に対応していきます。疾患ごとに専門医による地域医療支援を充実させ地域と win-win の関係を構築、さらに新たな地域医療の実践の場として卒前卒後の教育病院としての活用、次世代から求められる新たな医療人を育成することで、西三河地域全体の医療を支える医療機関をめざしていきます。



ロビー

### 【分院概要】

理念：「地域を守り共に生きる中核病院として、患者本位の医療を目指します。」

- ◆ 社会の信頼に応えうる医療機関
- ◆ 人間性豊かな医療人を育成できる教育機関

病床数：270床

急性期一般90床、地域包括ケア40床、

回復期リハビリテーション100床、療養40床

総床面積：約16,800㎡（南館：7,600㎡、北館：9,200㎡）

# 大阪医科薬科大学

## 新クラブハウス「志命館」竣工



クラブハウス「志命館」外観

令和3年1月19日、大阪医科大学（現大阪医科薬科大学）さわらぎキャンパスに運動系クラブの部室やトレーニング施設、シャワールーム等を備える新クラブハウス「志命館」が竣工しました。

志命館は、本学の卒業生である渡邊士乃武先生の御遺志に基づき、御遺族が寄付された基金を元に建築されたものです。「志命館」という建物名は、渡邊先生の名前である「士」の文字の下に、先生の思いである「心」をつけ、学生たちの「命（心と体）」を守り育むことを祈念し、命名されました。

本学では、人間性向上などの観点から学生の課外活動への積極的な参加を推奨しています。その結果、過去には西日本医科学生総合体育大会（西医体）において総合優勝を果たすなど、勉学に励みながら心・技・体の鍛錬を怠らない良き伝統が現在の学生にも継承されています。

また、志命館のエントランスホールには、各部の創設以来の変遷が分かる歴史年表を設置し、学生が伝統の継承者であることを自覚できるようにするとともに、建築趣意書の掲示スペースと寄贈品展示スペースを設け、渡邊先生の御遺志を感じ取れるようにしました。

大阪医科薬科大学は、令和3年4月1日に大阪医



トレーニングルーム

科大学と大阪薬科大学が統合し、新たな歩みをスタートさせました。引き続き、教育・研究の充実はもちろんのこと、本学に集う医学部、薬学部及び看護学部の学生が有意義なキャンパスライフを送ることができる環境整備を進めてまいります。

### 【建物概要】

階数：地上2階  
 建築面積：412.07㎡  
 延床面積：768.52㎡  
 高さ：7.88 m  
 構造：軽量鉄骨造

# 東京医科大学

## 大学病院新立体駐車場棟完成



大学病院新立体駐車場棟外観

東京医科大学西新宿キャンパスの新大学病院棟は令和元年7月1日に開院いたしました。その後、新大学病院棟に続けて建築工事が進められてきた新立体駐車場棟が、令和3年3月31日に完成、引渡しとなり、4月1日にオープンいたしました。

新立体駐車場棟の建物概要は、鉄筋造4層3階建、建築面積3,792㎡、延床面積10,765㎡、棟内に409台の収容台数を確保いたしました。棟内にはかねてより教職員から拡充が期待されてきた院内保育園を新たに整備した他、近隣に働く方々や地域の皆様にもご利用いただけるコンビニエンスストアやカフェなどがあります。

院内保育園（令和3年6月開園）は、床面積420.81㎡、定員24名で、月極保育の他、令和4年度からは夜間保育や病児・病後児保育を予定しており、東京医科大学病院で働く全ての教職員の「勤務継続と復職支援」をコンセプトに、安心して仕事に専念でき、子供たちが心豊かに成長できるような両立支援プログラムを実践します。

このたび完成した新立体駐車場棟は、これまで長期にわたるキャンパス整備事業の間、ご不便をおか



院内保育園

けてきた患者さんやご家族のアクセスを飛躍的に向上させるばかりでなく、東京都庁を始めとした超高層ビルが立ち並ぶ新宿副都心の中心において、「新宿のあたらしい森」をコンセプトに、オフィス街を行き交う人々に壁面緑化や屋上緑化、また街区に配置された樹木や緑地帯によって、やすらぎと清涼感を感じさせる快適な空間を提供しています。

# 兵庫医科大学

## 大学病院立体駐車場・デッキ棟完成



教育研究棟（左奥）に隣接する形で建設したデッキ棟（手前）

2020年12月に新しい「立体駐車場・デッキ棟」が完成し、2021年4月から本格稼働を開始しました。

新しい立体駐車場（地上6階建て）は、2026年に新しい病院棟の開院をめざすにあたり、その建設予定地にあった旧立体駐車場の後継となるもので、患者さんのさらなる利便性のアップなども考慮して、現在の病院棟に隣接する場所に新たに建設しました。建築面積3,372.14㎡、延床面積16,115.76㎡、駐車台数587台と旧立体駐車場より約100台も多く駐車が可能で、渋滞の緩和が見込まれます。また、「津波避難ビル」に指定されているので、万が一の津波発生時には、地域住民などが一時もしくは緊急避難することが可能。災害に対する地域住民の不安感を取り除き、安心して暮らせる地域環境づくりにも貢献しています。さらに、2026年の新病院棟の開院時には、ペDESTリアンデッキで病院棟と立体駐車場を結ぶことで、「安全な歩行空間の確保」「土地利用の高度化」なども実現できるように計画中です。

今回、立体駐車場とともにデッキ棟（地上3階建て）が完成したことで、学生や教職員はデッキ棟2階から教育研究棟2階のメインフロアへ出入りする



デッキ棟2階（写真奥が教育研究棟とつながる出入口）

ことが可能となりました。出入口には、入退館確認用として、学生証・教職員証のICカードを使用した「セキュリティゲート」を導入しています。また、デッキ棟は教育研究棟だけでなく病院棟とも隣接しており、連絡通路を設けることで雨にあたらずに学生や患者さんが移動できるなど利便性に優れています。

# 医大協ニュース

## 岩手医科大学

《役職者の人事》

◎副学長

三浦廣行（再任）  
令和3年4月1日付

《教授の人事》

◎病理学講座機能病態学分野

片岡竜貴  
令和2年11月1日付

◎内科学講座膠原病・アレルギー

内科分野  
仲 哲司

◎小児科学講座

赤坂真奈美

◎睡眠医療学科

西島嗣生

◎産婦人科学講座

小山理恵  
以上、令和3年4月1日付

## 日本医科大学

《法人役員》

◎理事

柴由美子（新任）  
令和3年2月1日付

◎監事

池田大祐（新任）  
令和3年4月1日付

《人事》

◎大学院医学研究科長

森田明夫（再任）

◎大学院教授

館野 周（精神・行動医学分野）  
荒川亮介（薬理学分野）  
鈴木俊治（女性生殖発達病態学  
分野）

◎教授

仁藤智香子（研究部共同研究施設）  
神田奈緒子（皮膚科学）  
別所竜蔵（外科学（心臓血管外  
科学））

◎臨床教授

李 卿（付属病院リハビリテ  
ーション科）  
小林美奈子（武蔵小杉病院感染  
制御部）  
和田勇治（千葉北総病院リハビリ  
テーション科）

◎特任教授

貝瀬 満  
北村義浩

◎事務局長

栗山雅秀  
以上、令和3年4月1日付

◎しあわせキャリア支援センター長

土佐眞美子（再任）  
令和3年1月1日付

◎腎クリニック所長

平間章郎（再任）  
令和3年2月1日付

◎先端医学研究所所長

田中信之（再任）  
令和3年4月1日付

《定年退職》

◎大学院教授

鈴木秀典（薬理学分野）  
猪口孝一（血液内科学分野）  
大久保善朗（精神・行動医学分野）  
竹下俊行（女性生殖発達病態学  
分野）

◎病院教授

日野光紀（内科学（呼吸器内科学））  
以上、令和3年3月31日付

《称号授与》

◎名誉教授

鈴木秀典  
猪口孝一  
大久保善朗  
竹下俊行  
以上、令和3年4月1日付

《訃報》

早川弘一名誉教授は、令和2年  
11月20日に逝去されました。

鎌田隆理事は、令和2年12月  
8日に逝去されました。

恵畑欣一名誉教授は、令和3年  
2月23日に逝去されました。

## 東邦大学

《法人役員》

◎理事就任

盛田俊介（新任）  
田中芳夫（再任）  
古田寿昭（再任）  
岸恵美子（新任）  
以上、令和3年4月1日付

## 《役職者人事》

## ◎医学部長・医学研究科長就任

盛田俊介（新任）

令和3年4月1日付

## 《教授人事》

## ◎教授就任

根本匡章（脳神経外科学講座）

蛭田啓之（病院病理学講座）

以上、令和3年4月1日付

## ◎教授退任

黒岩 実（外科学講座小児外科学分野）

龍野一郎（内科学講座糖尿病・代謝・内分泌学分野）

水野雅文（精神神経医学講座）

渡邊正志（臨床支援室）

以上、令和3年3月31日付

## ◎名誉教授称号授与

渡邊正志

令和3年4月1日付

## 東京医科大学

## 《法人役員》

## ◎理事就任（再任）

池田寿昭（八王子医療センター  
病院長 / 病院機能関連領域特定  
集中治療部）

令和2年10月1日付

## 《就任》

## ◎教授

永川裕一（消化器・小児外科学  
分野）赤坂純逸（八王子医療センター  
外科系分野心臓血管外科）

以上、令和3年2月1日付

## 《退任》

## ◎主任教授

石 龍徳（組織・神経解剖学分野）

令和3年3月31日付

## ◎教授

中島 淳（泌尿器科学分野）

令和2年9月30日付

村上善基（先端核酸医療講座）

令和3年1月31日付

大岩 潔（自然科学領域物理学  
教室）齋藤 彰（人工知能応用医療講  
座）

大久保信司（循環器内科学分野）

櫻井博文（高齢総合医学分野）

今泉 均（麻酔科学分野）

濱田篤郎（病院機能関連分野渡  
航者医療センター）金谷潔史（八王子医療センター  
内科関連分野高齢診療科）高橋秀暢（八王子医療センター  
外科系分野呼吸器外科）進藤俊哉（八王子医療センター  
外科系分野心臓血管外科）

以上、令和3年3月31日付

## 東京女子医科大学

## 《法人役員退任》

## ◎理事退任

渡辺俊夫

山本雅一

以上、令和3年3月31日付

## 《教授就任》

乾 政志（八千代医療センター  
泌尿器科教授）

令和2年12月24日付

山口茂樹（消化器・一般外科（下  
部消化管外科分野）教授）

令和3年2月1日付

八巻 隆（東医療センター形成  
外科教授）町田治彦（東医療センター放射  
線科教授）新井誠人（八千代医療センター  
消化器内科教授）

以上、令和3年4月1日付

## 《教授退任》

大久保由美子（統合教育学修セ  
ンター基礎教育学教授）

西尾禎治（放射線腫瘍学教授）

以上、令和2年12月31日付

小田秀明（病理学（実験病理学  
分野）教授・講座主任）

近藤光子（呼吸器内科学教授）

田邊一成（泌尿器科学教授・講  
座主任）

長原 光（院長室教授）

布田伸一（心臓血管外科学教授）

山本雅一（消化器外科学教授・  
講座主任）井砂 司（東医療センター形成  
外科教授）新井田達雄（八千代医療センター  
消化器外科教授）

以上、令和3年3月31日付

## 昭和大学

## 《就任関係》

◎医学部産婦人科学講座（昭和大学  
横浜市北部病院勤務）教授（員外）  
市塚清健（就任）◎医学部内科学講座（呼吸器アレ  
ルギー内科学部門）（昭和大学横  
浜市北部病院勤務）教授（員外）  
松倉 聡（就任）

以上、令和2年12月1日付

◎医学部外科学講座（小児心臓血  
管外科学部門）（昭和大学病院  
勤務）教授（員外）

宮原義典（就任）

◎医学部小児科学講座（小児循環  
器内科学部門）（昭和大学病院  
勤務）教授（員外）

藤井隆成（就任）

以上、令和3年1月12日付

◎医学部臨床病理診断学講座（昭  
和大学横浜市北部病院勤務）教  
授

根本哲生（就任）

◎医学部内科学講座（臨床感染症  
学部門）（昭和大学病院勤務）

教授（員外）  
 時松一成（就任）  
 以上、令和3年2月9日付

◎医学部外科学講座（消化器一般外科学部門）（昭和大学病院勤務）教授  
 青木武士（就任）

◎医学部内科学講座（循環器内科学部門）（昭和大学江東豊洲病院勤務）教授  
 丹野 郁（就任）

◎医学部整形外科学講座（昭和大学藤が丘病院勤務）教授  
 神崎浩二（就任）

◎医学部医学教育学講座（昭和大学横浜市北部病院勤務）教授  
 緒方浩頭（就任）

◎医学部脳神経外科学講座（昭和大学藤が丘病院勤務）教授（員外）  
 津本智幸（就任）

◎昭和大学名誉教授  
 高木 康（授与）

◎昭和大学名誉教授  
 板橋家頭夫（授与）

◎昭和大学名誉教授  
 末木博彦（授与）

◎昭和大学名誉教授  
 小川良雄（授与）  
 以上、令和3年4月1日付

《退任関係》

◎医学部外科学講座消化器一般外科学部門（昭和大学病院勤務）教授  
 村上雅彦（定年退職）  
 （特任教授に就任：昭和大学病院食道外科・食道がんセンター勤務）

◎医学部脳神経外科学講座（昭和大学藤が丘病院勤務）教授  
 寺田友昭（定年退職）  
 （特任教授に就任：昭和大学横浜市北部病院脳神経外科勤務）

◎医学部医学教育学講座（昭和大学横浜市北部病院勤務）教授

成島道昭（定年退職）  
 （客員教授に就任：昭和大学横浜市北部病院内科勤務）

◎医学部麻酔科学講座（昭和大学江東豊洲病院勤務）教授  
 鈴木尚志（定年退職）  
 （特任教授に就任：昭和大学江東豊洲病院麻酔科勤務）

◎医学部放射線医学講座放射線科学部門（昭和大学江東豊洲病院勤務）教授  
 長谷川真（定年退職）  
 （特任教授に就任：昭和大学江東豊洲病院放射線診断科勤務）

◎医学部外科学講座小児心臓血管外科学部門（昭和大学病院勤務）教授（員外）  
 石野幸三（定年退職）  
 以上、令和3年3月31日付

《異動関係》

◎医学部泌尿器科学講座（昭和大学病院勤務）教授  
 深貝隆志（異動）（勤務地変更）  
 令和3年4月1日付

## 順天堂大学

《人事異動》

◎医学部附属浦安病院長  
 田中 裕（新任）  
 令和3年4月1日～令和6年3月31日

◎医学部附属順天堂越谷病院長  
 鈴木利人（新任）  
 令和3年4月1日～令和6年3月31日

◎医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター院長  
 宮嶋雅一（新任）  
 令和3年4月1日～令和4年3月31日

◎教授就任  
 田中里佳（医学研究科再生医学、

医学部形成外科学講座）  
 令和2年12月1日付

諏訪 哲（医学研究科循環器内科学（静岡病院））  
 北村庸雄（医学研究科消化器内科学（浦安病院））  
 以上、令和3年1月1日付

瀬山邦明（医学研究科呼吸器内科学）  
 安藤 純（医学研究科輸血・幹細胞制御学、医学部血液学講座）  
 以上、令和3年3月1日付

洲崎悦生（医学研究科生化学・生体防御学）  
 新井正美（医学研究科臨床遺伝学）  
 頼高朝子（医学研究科神経学（越谷病院））  
 大友義之（医学研究科小児思春期発達・病態学（練馬病院））  
 以上、令和3年4月1日付

渡邊純一郎（医学研究科乳腺腫瘍学）  
 令和3年5月1日付

◎教授定年退職

天野 篤（医学研究科心臓血管外科学）  
 小松則夫（医学研究科血液内科学）  
 池田勝久（医学研究科耳鼻咽喉科学）  
 西村欣也（医学研究科麻酔科学）  
 佐藤浩一（医学研究科上部消化管外科学（静岡病院））  
 和田 了（医学研究科人体病理病態学（静岡病院））  
 岡崎 敦（医学研究科麻酔科学（静岡病院））  
 北村庸雄（医学研究科消化器内科学（浦安病院））  
 一宮洋介（医学研究科精神・行動科学（高齢者医療センター））  
 住吉正孝（医学研究科循環器内科学（練馬病院））

以上、令和3年3月31日付

◎名誉教授就任

天野 篤

池田勝久

西村欣也

佐藤浩一

和田 了

岡崎 敦

一宮洋介

住吉正孝

木所昭夫(医学研究科臨床腫瘍学(浦安病院))

以上、令和3年4月1日付

《訃報》

北川隆一名誉教授(泌尿器科学)は令和2年10月19日に、高田道夫名誉教授(産婦人科学)は令和2年11月3日に逝去されました。

## 関西医科大学

《人事》

◎学長就任

友田幸一(再任)

令和3年4月1日付

◎副学長就任

木梨達雄(再任)

野村昌作(再任)

金子一成(新任)

以上、令和3年4月1日付

◎教授就任

谷山佳弘(診療教授:医学部内科学第二講座(腎臓内科担当))

鳥谷昌明(診療教授:医学部内科学第三講座(総合医療センター担当))

以上、令和2年11月1日付

岸本昌浩(診療教授:医学部外科学講座(乳腺外科担当))

令和3年1月1日付

Raoul BREUGELMANS(医学部英語教室)

大隈 和(医学部微生物学講座)

覚道奈津子(医学部形成外科学講座)

木下秀文(医学部腎泌尿器外科学講座)

綿谷正弘(理事長特命教授(香里病院乳腺センター担当))

川副浩平(理事長特命教授:附属病院ハートセンター(任期延長))

關 壽人(理事長特命教授:総合医療センター肝臓病センター(任期更新))

徳永裕彦(理事長特任教授:総合医療センター人工関節センター))

中川 淳(学長特任教授(入試センター))

鈴鹿有子(学長特任教授(国際交流センター))

西屋克己(センター教授:医学教育センター)

小早川令子(研究所教授:附属生命医学研究所神経機能部門)

森川 守(診療教授(医学部産科学・婦人科学講座産科(附属病院担当))

以上、令和3年4月1日付

◎教授退任

中川 淳(医学部英語教室)

藤澤順一(医学部微生物学講座)

楠本健司(医学部形成外科学講座)

松田公志(医学部腎泌尿器外科学講座)

吉岡和彦(理事長特命教授:総合医療センター外科)

以上、令和3年3月31日付

《役職員人事》

◎附属病院長

松田公志(新任)

◎病態分子イメージングセンター長

中邨智之(再任)

◎歴史資料室長

西山利正(再任)

◎附属図書館長

赤根 敦(新任)

◎臨床研究支援センター長  
長沼 誠(新任)

◎産学連携知的財産統括室長  
薬師寺祐介(新任)

◎医学教育センター長  
西屋克己(再任)

◎国際交流センター長  
鈴鹿有子(再任)

◎入試センター長  
中川 淳(再任)

◎看護キャリア開発センター長  
牛嶋百合子(新任)

◎学生支援室長  
村田英之(再任)

◎法人事務局長  
高井 俊(再任)

以上、令和3年4月1日付

## 大阪医科薬科大学

《法人役員》

◎理事(退任)

佐野浩一

大槻勝紀

政田幹夫

以上、令和3年3月31日付

◎理事(就任)

佐野浩一

大野行弘

以上、令和3年4月1日付

《人事》

◎学長(退任)

大槻勝紀

◎教授(退任)

池田恒彦(眼科学)

◎専門教授(退任)

寺井陽彦(口腔外科学)

◎特別職務担当教員(教授)(退任)

(三島南病院)

鈴木秀治(内科)

以上、令和3年3月31日付

◎学長(就任)

- 佐野浩一  
 ◎医学部長（就任）  
 内山和久  
 ◎教授（就任）  
 星賀正明（内科学Ⅲ）  
 喜田照代（眼科学）  
 以上、令和3年4月1日付  
 ◎特別職務担当教員（教授）（就任）  
 後藤昌弘  
 令和2年10月1日付

## 久留米大学

- 《役職者の就任》  
 ◎副学長就任  
 志波直人  
 令和3年1月1日付  
 《役職者の退任》  
 ◎大学院医学研究科科長  
 神田芳郎  
 ◎保健管理センター長  
 吉田典子  
 以上、令和3年3月31日付  
 《役職者の就任》  
 ◎大学院医学研究科科長  
 溝口充志  
 ◎医学部長（再任）  
 矢野博久  
 ◎医学部看護学科科長（再任）  
 三橋睦子  
 ◎医学部附属臨床検査専門学校長  
 （再任）  
 西 昭徳  
 ◎分子生命科学研究所長（再任）  
 齋藤成昭  
 ◎循環器病研究所長（再任）  
 福本義弘  
 ◎皮膚細胞生物学研究所長（再任）  
 名嘉眞武國  
 ◎保健管理センター長  
 安川秀雄  
 以上、令和3年4月1日付  
 《教授の退任》

- ◎医学部医学科解剖学講座（顕微解剖・生体形成部門）  
 中村桂一郎（定年）  
 ◎医学部医学科外科学講座  
 奥田康司（定年）  
 ◎医学部医学科整形外科学講座  
 白濱正博（定年）  
 ◎医学部医学科地域医療連携講座（寄附講座）  
 足達 寿（定年）  
 ◎医学部医学科外科学講座（小児外科部門）  
 八木 実（定年）  
 ◎医学部医学科小児科学講座  
 古賀靖敏（定年）  
 ◎バイオ統計センター  
 角間辰之（定年）  
 以上、令和3年3月31日付  
 《教授の就任》  
 ◎医学部医学科小児科学講座  
 西小森隆太  
 令和3年1月1日付  
 ◎バイオ統計センター  
 室谷健太  
 ◎医学部医学科内科学講座（消化器内科部門）  
 井出達也  
 ◎医学部医学科外科講座  
 久下 亨  
 以上、令和3年4月1日付  
 《特命教授の就任》  
 ◎学長直属  
 角間辰之  
 令和3年4月1日付

## 杏林大学

- 《医学部人事》  
 ◎教授（就任）  
 山田昌和（眼科学）  
 徳嶺讓芳（麻醉科学）  
 慶野 博（臨床教授）（眼科学）  
 森山 潔（臨床教授）（麻醉科学）

- 以上、令和3年4月1日付  
 中富浩文（脳神経外科学）  
 成田雅美（小児科学）  
 以上、令和3年1月1日付  
 河野隆志（臨床教授）（循環器内科学）  
 令和2年10月1日付  
 三戸部治郎（感染症学）  
 令和2年8月1日付  
 ◎教授（定年退任）  
 森 俊幸（消化器・一般外科学）  
 楊 國昌（小児科学）  
 鎮西美栄子（麻醉科学）  
 以上、令和3年3月31日付  
 ◎教授（退任）  
 正木忠彦（消化器・一般外科学）  
 桶川隆嗣（臨床教授）（泌尿器科学）  
 以上、令和3年3月31日付  
 《病院人事》  
 平野照之（副院長、医療安全管理部長）  
 森山 潔（高気圧酸素治療室長、臨床工学室長）  
 成田雅美（小児科診療科長）  
 以上、令和3年4月1日付  
 ◎名誉教授称号授与  
 神谷 茂（感染症学）  
 甲能直幸（耳鼻咽喉科学）  
 東原英二（泌尿器科学）  
 以上、令和3年4月1日付

## 川崎医科大学

- 《就任》  
 ◎教授  
 杉本 研（総合老年医学）  
 令和2年10月1日  
 杭ノ瀬昌彦（総合外科学）  
 長谷川健二郎（脊椎・災害整形外科学）  
 以上、令和2年11月1日  
 西松伸一郎（自然科学）

伊藤達男（衛生学）  
野田知之（運動器外傷・再建整形外科学）  
勝井邦彰（放射線腫瘍学）  
以上、令和3年4月1日

《退任》

◎教授

泰山浩司（自然科学）  
宮本 修（生理学2）  
大槻剛巳（衛生学）  
小島 淳（総合内科学3）  
尾内一信（小児科学）  
稲川喜一（形成外科学）  
以上、令和3年3月31日

## 聖マリアンナ医科大学

《人事異動》

◎教授（定年）

松田隆秀（内科学（総合診療内科）教授）  
鈴木通博（内科学（消化器・肝臓内科）教授）  
宮島伸宜（外科学（消化器・一般外科）診療教授）  
駒瀬裕子（内科学（呼吸器内科）（西部病院）病院教授）  
以上、令和3年3月31日付

◎教授（退職）

佐々木秀郎（腎泌尿器外科学（腎泌尿器外科一般）（大学病院）病院教授）  
日野博文（麻酔学（大学病院）病院教授）  
以上、令和3年3月31日付

◎教授（任命）

砂川 優（臨床腫瘍学教授）  
山本博之（バイオインフォマティクス学大学院教授）  
以上、令和3年4月1日付  
榭井良裕（救急医学（救急総合診療）（西部病院）病院教授）

井上靖之（内科学（血液・腫瘍内科）（西部病院）病院教授）  
以上、令和3年1月1日付  
富田直人（内科学（血液・腫瘍内科）（大学病院）病院教授）  
櫻田 勉（内科学（腎臓・高血圧内科）（大学病院）病院教授）  
脇坂宗親（外科学（小児外科）（西部病院）病院教授）  
瀬尾 徹（耳鼻咽喉科学）（西部病院）病院教授）  
森 雅亮（内科学（リウマチ・膠原病・アレルギー-内科）（大学病院）病院教授）  
篠田和伸（腎泌尿器外科学（腎泌尿器外科一般）（大学病院）病院教授）  
以上、令和3年4月1日付

## 帝京大学

《人事異動》

◎主任教授

功刀 浩（医学部精神神経科学講座）（昇任）  
長阪一憲（医学部産婦人科学講座）（昇任）  
森村尚登（医学部救急医学講座）（昇任）  
以上、令和3年4月1日付

◎教授

吉野友祐（医学部微生物学講座）（昇任）  
森村尚登（医学部救急医学講座）（採用）  
荒木 剛（医学部附属溝口病院精神神経科学）（採用）  
以上、令和3年4月1日付  
長阪一憲（医学部産婦人科学講座）（昇任）  
原 芳樹（医学部麻酔学講座）（昇任）

張 京浩（医学部集中治療部）（昇任）

以上、令和2年12月1日付  
大久保由美子（医学部内科学講座（医学教育センター兼務））（採用）

令和3年1月1日付

◎名誉教授

斧 康雄  
綾部琢哉  
以上、令和3年4月1日付

## 兵庫医科大学

《役員の人事》

◎監事

後藤研了（新任）  
令和3年4月1日付  
中西 清（退任）  
令和3年3月31日付

《教授の人事》

◎主任教授就任

北岡志保（薬理学）  
令和3年4月1日付

◎主任教授退任

竹村基彦（薬理学）  
竹末芳生（感染制御学）  
以上、令和3年3月31日付

◎教授就任

夏秋 優（皮膚科学）  
令和3年1月1日付

◎教授退任

湖海正尋（精神科神経科学）  
令和3年3月31日

◎名誉教授の称号授与

竹村基彦（薬理学）  
竹末芳生（感染制御学）  
以上、令和3年4月1日付

**愛知医科大学  
祖父江逸郎先生逝去  
(元協会理事、元協会研究体制検討委員会委員長)**



愛知医科大学元学長で名誉教授の祖父江逸郎先生は令和3年3月29日(月)に逝去されました。享年101でした。学校法人愛知医科大学理事長の祖父江元先生のご尊父です。

祖父江逸郎先生は大正10年3月19日に愛知県山田村(現名古屋市)に生まれました。太平洋戦争中の昭和18年に名古屋帝国大学医学部を卒業し、海軍に入隊。軍医として戦艦大和に乗艦し、レイテ沖海戦にも従軍されました。

戦後は名古屋大学に奉職し、医学部長や2度の付属病院長などを歴任されました。神経内科が専門で、難病の筋委縮性側索硬化症(ALS)やパーキンソン病などの治療・研究に取り組みされました。

平成3年に愛知医科大学学長に就き、3期9年間、カリキュラムの充実や学術国際交流の進展に努め、平成12年に開設した看護学部の設立に寄与されました。

昭和59年から62年まで就任していた国立療養所中部病院長時代から、長寿社会の到来を見据えて本格的に「老い」の研究を始め、愛知県大府市に国立長寿医療研究センターが設置されるなど研究拠点の整備にも尽力されました。

平成22年から令和2年までは公益財団法人長寿科学振興財団理事長も務められました。

長年にわたり医学、医療の発展、向上に多大な貢献をしたとして、平成6年には勲二等旭日重光章を受章しています。

ここに祖父江先生に対する生前のご厚誼に感謝申し上げます。

**愛知医科大学**

《理事・監事の異動》

◎理事

- 藤原祥裕(辞任)  
令和3年3月31日付
- 岩船徹雄(就任)
- 道勇 学(就任)
- 以上、令和3年4月1日付

《役職者人事》

◎病院長

- 藤原祥裕(辞任)(愛知医科大学病院)  
令和3年3月31日付
- 道勇 学(就任)(愛知医科大学病院)
- 羽生田正行(就任)(愛知医科大学メディカルセンター)
- 以上、令和3年4月1日付

《教員人事》

◎教授

- 中村二郎(退職)(内科学講座(糖尿病内科))
  - 羽生田正行(退職)(外科学講座(呼吸器外科))
  - 武山直志(退職)(救命救急科)  
以上、令和3年3月31日付
  - 中村二郎(採用)(先進糖尿病治療学寄附講座)
  - 齋藤正敏(採用)(メディカルセンター整形外科)
  - 以上、令和3年4月1日付
  - 神谷英紀(昇任)(内科学講座(糖尿病内科))
  - 山中 真(昇任)(看護学部)
  - 以上、令和3年4月1日付
- ◎特命教授
- 伴信太郎(退職)(医学教育センター)
  - 令和3年3月31日付

- 武山直志(採用)(救命救急科)
- 羽生田正行(採用)(メディカルセンター)
- 以上、令和3年4月1日付

◎教授(特任)

- 中尾春壽(退職)(メディカルクリニック)
- 令和2年12月31日付
- 平井宗一(退職)(解剖学講座)
- 岩瀬 敏(退職)(生理学講座)
- 村上秀樹(退職)(病理学講座)
- 以上、令和3年3月31日付
- 中出幸臣(昇任)(内科学講座(肝胆膵内科))
- 鈴木靖司(昇任)(内科学講座(循環器内科))
- 加藤義郎(昇任配置換)(メディカルセンター)
- 以上、令和3年4月1日付

◎特務教授

- 柴田英治(退職)(保健管理センター)
- 令和3年3月31日付

## 藤田医科大学

### 《役員人事》

#### ◎理事

齋藤邦明（就任）  
令和2年10月2日付

#### ◎監事

内藤健晴（就任）  
小出宣昭（就任）  
以上、令和2年10月2日付

### 《役員の退任》

#### ◎理事

内藤健晴  
令和2年10月1日付

### 《役職者人事》

#### ◎藤田医科大学病院長

湯澤由紀夫（重任）

#### ◎藤田医科大学ばんだね病院長

堀口明彦（重任）

#### ◎藤田医科大学七栗記念病院長

園田 茂（重任）

以上、令和3年2月1日付

### 《教授の就任》

松岡 宏（総合消化器外科学）

令和2年10月1日付

伊藤逸毅（眼科学）

太田充彦（公衆衛生学）

浦野 誠（病理診断学（ばんだね病院））

池田匡志（精神神経科学）

飯島祥彦（生命倫理学）

築瀬正伸（循環器内科学）

以上、令和3年4月1日付

### 《教授の退職》

村瀬吉郎（救急総合内科学）

令和2年9月30日付

八谷 寛（公衆衛生学）※クロスアポイントメント

堀口高彦（呼吸器内科学Ⅱ（ばんだね病院））

野倉一也（神経内科（ばんだね病院））

松尾浩一郎（歯科・口腔外科学）

吉田友昭（生物学）

以上、令和3年3月31日付

### 《名誉教授称号授与》

内藤健晴

令和2年10月2日付

堀口高彦

令和3年4月1日付

## 金沢医科大学

### ◎教授／講座主任

朝比奈正人（神経内科学）（就任）

高野 環（心臓血管外科学）（就任）

清水 晶（皮膚科学）（就任）

林 康彦（脳神経外科学）（就任）

古市賢吾（腎臓内科学）（就任）

以上、令和3年4月1日付

有沢富康（消化器内科学）（退職）

飯塚秀明（脳神経外科学）（退職）

望月 隆（皮膚科学）（退職）

元雄良治（腫瘍内科学）（退職）

松井 真（神経内科学）（退職）

横山 仁（腎臓内科学）（退職）

以上、令和3年3月31日付

### ◎事務局長

杉森哲也（就任）

令和3年4月1日付

## 獨協医科大学

### 《学校法人獨協学園の人事》

#### ◎理事の就任（再任）

若松昭豊（事務局長）

任期：令和3年4月1日～令和5年8月1日

### 《役職者の就任》

#### ◎日光医療センター副院長

山口 悟（新任）

任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日

#### ◎医学部学生部長

福田宏嗣（再任）

任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日

#### ◎大学院医学研究科教学部長

杉本博之（再任）

任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日

#### ◎図書館長

神作憲司（新任）

任期：令和3年4月1日～令和6年3月31日

### 《教授の就任》

國分則人（内科学（神経））

令和2年10月1日付

三橋 暁（産科婦人科学）

井原 裕（埼玉医療センター

こころの診療科）

以上、令和2年11月1日付

豊田 茂（内科学（心臓・血管／循環器））

深美 悟（耳鼻咽喉・頭頸部外科学）

久保田一徳（埼玉医療センター放射線科）

奥山 隆（埼玉医療センター外科）

上條義一郎（埼玉医療センター

リハビリテーション科）

以上、令和3年4月1日付

## 東海大学

### 《役職者就任》

#### ◎理事・常務理事、伊勢原校舎・

付属病院本部本部長

飯田政弘

#### ◎副学長（医系担当）

坂部 貢

#### ◎伊勢原校舎・付属病院本部副本

部長（統括・教育研究担当）、

医学部長

森 正樹（新任）

#### ◎伊勢原校舎・付属病院本部副本

- 部長（病院担当）、医学部付属病院長  
渡辺雅彦
- ◎理事・常務理事、伊勢原校舎・付属病院本部副本部長（事務担当）、伊勢原事務部長、医学部付属病院事務部長  
八木憲司
- ◎医学部副学部長  
深川雅史（新任）  
松前光紀  
中村直哉
- ◎医学部副学部長、大学院医学研究科長  
小林広幸
- ◎医学部副学部長、医学部医学科長  
川田浩志
- ◎医学部付属病院副院長  
吉岡公一郎  
浅野浩一郎  
岩崎正之  
大上研二  
小川吉明
- ◎医学部付属東京病院長  
西崎泰弘

- ◎医学部付属東京病院副院長  
千野 修  
白石光一
- ◎医学部付属大磯病院長  
島田英雄
- ◎医学部付属大磯病院副院長  
豊倉 穰  
島田 恵
- ◎医学部付属八王子病院長  
山田俊介
- ◎医学部付属八王子病院副院長  
向井正哉  
野川 茂  
鈴木孝良
- 《教授就任》  
古屋博行（基盤診療学系衛生学公衆衛生学）  
八幡 崇（基盤診療学系先端医療科学）  
小柳和夫（外科学系消化器外科学）  
内山善康（外科学系整形外科学）  
河野太郎（外科学系形成外科学）  
伊藤健二（外科学系麻酔科学）  
阿部貴人（内科学系脳神経内科学）  
山田佳之（総合診療学系小児科学）

- 馬場彰泰（総合診療学系健康管理学）
- 《臨床教授就任》  
唐木田一成（専門診療学系口腔外科学）  
清水真二（総合診療学系健康管理学）
- 以上、令和3年4月1日付

## 産業医科大学

- 《教授の就退任》  
片岡雅晴（第2内科学）（就任）  
令和2年12月1日付  
田中優子（脳卒中血管内科学）（就任）  
令和3年4月1日付  
興梠征典（放射線科学）（退任）  
令和3年3月31日付  
青木隆敏（放射線科学）（就任）  
令和3年4月1日付

### 愛知医科大学寄附講座 「先進糖尿病治療学寄附講座」の紹介

令和3年4月1日、愛知医科大学医学部に寄附講座を設置しました。

1 設置目的

我が国のみならず世界的にも糖尿病患者数が増加しており、将来的な糖尿病性合併症の発症・進展を如何に抑えるかが重要な課題である。しかしながら、糖尿病性合併症の発症メカニズムの詳細については未だ不明な点も多く、この分野における研究の更なる進展が期待されている。我が国のみならず世界的にも糖尿病性合併症研究の第一人者である本講座の主任研究者が中心となり、国内外の研究者と共同して研究を推進することにより、糖尿病性合併症の発症機序の解明、更には新たな治療法の確立につながることを期待される。

2 設置期間 令和3年4月1日から令和6年3月31日まで（3年間）

3 寄附講座職員構成

- ・教授 中村 二郎 名古屋大学医学部医学科卒業，博士（医学）学位取得（名古屋大学）  
前職：愛知医科大学内科学講座（糖尿病内科）・教授

4 寄附者名

- ・小野薬品工業株式会社    ・アボットジャパン合同会社    ・株式会社三和化学研究所
- ・興和株式会社            ・テルモ株式会社

5 寄附金額等 各年度 2,000 万円（寄附総額 6,000 万円）

# 協会及び関係団体の動き

## I. 新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が我が国に発生以降、本協会加盟大学附属病院は、新型コロナウイルス感染症患者を受入れながら高度先進医療を行う本来の使命を維持しつつ、外来診療や手術の抑制、一般入院患者数の調整を行っている。更に救急医療も維持し、国民医療の充実に誠意をもって最大限の努力を注いで来ている。

これまで、国公私立大学病院は新型コロナウイルス感染症患者 18,979 名の受入れを行って来っており、令和3年4月30日現在、患者受入数は国立大学 4,218 名、公立大学 2,157 名、日本私立医科大学協会加盟 29 大学 12,604 名となっている。（図1）

本協会は、新型コロナウイルス感染症患者の受入れ体制の確立の必要性について当初より提言、要望を行って来た。世界各国で起きている医療崩壊を防止するためにも、患者の症状（軽症・中等症・重症）に対応して適切な層別化を行い、軽症は自宅やホテル、中等症は一般病院、重症患者は感染症指定医療機関並びに高次機能病院等で治療に当たる等、地域主導による機能分化・医療体制を構築することが必要であり、その体制の確立と国民に対する「層別化」情報の周知が重要との主張であった。

日本私立医科大学協会加盟大学附属病院（29 大学 84 病院）に於ける重症患者受入総数（令和3年4月30日時点〈中間集計〉）は 2,779 名となっている。《新型コロナウイルス感染症による影響度調査について》

本協会は「新型コロナウイルス感染症による影響度調査」を定期的実施しており、令和2年2月から令和3年1月までの期間での集計結果を下記の通り取りまとめた。

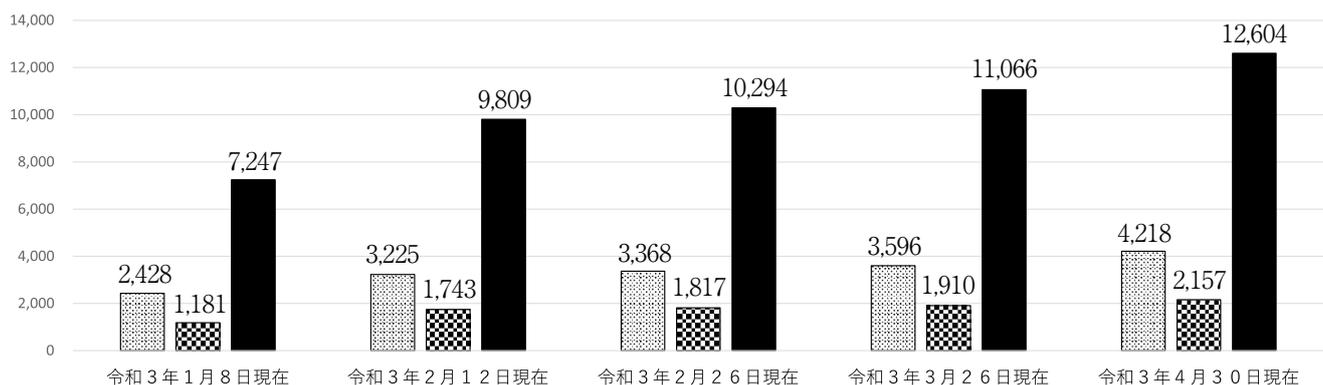
### ■外来患者延数について

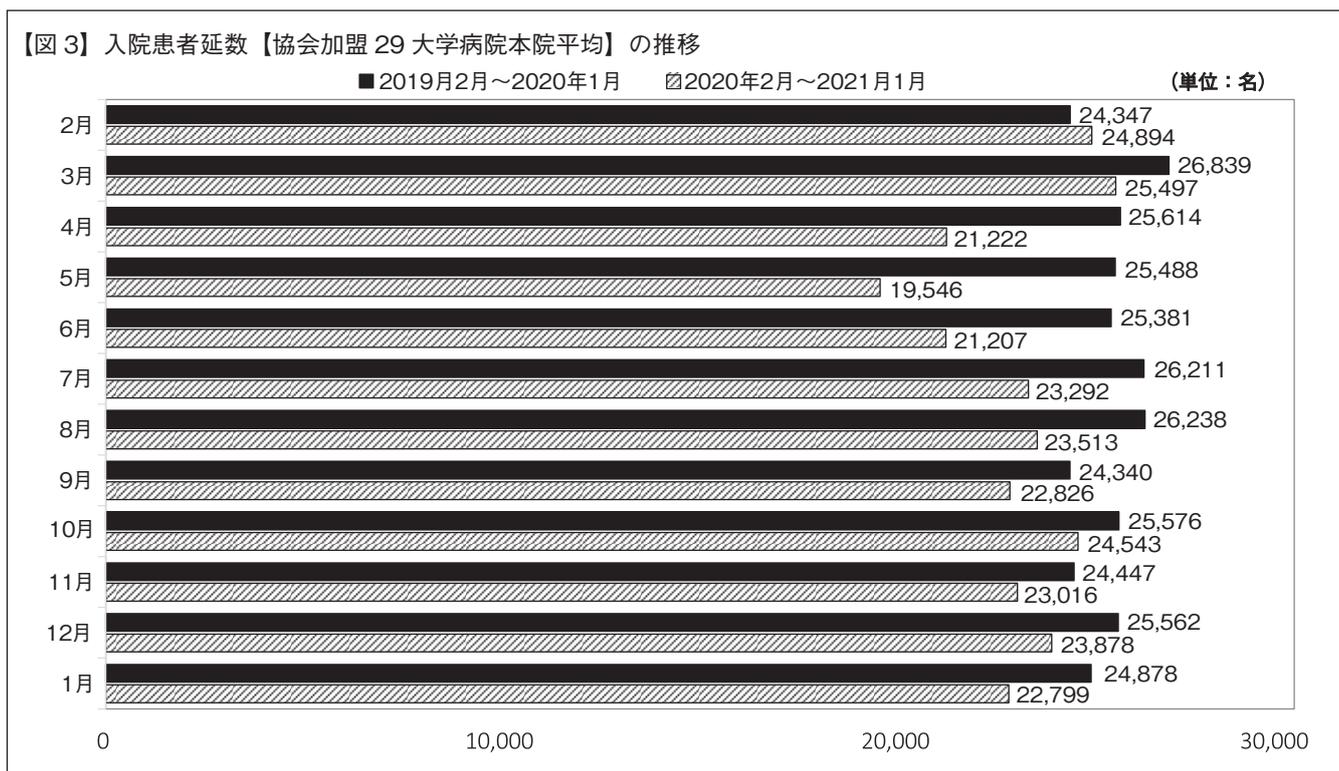
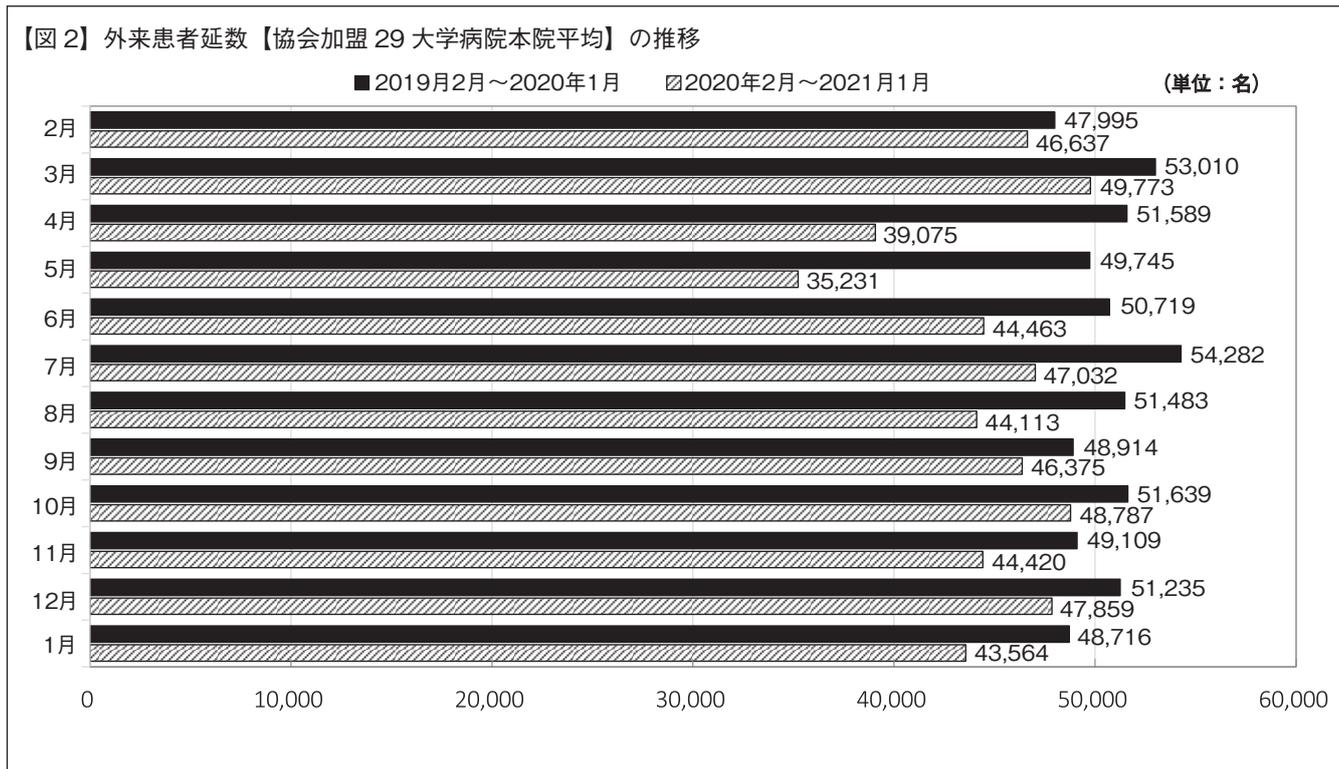
外来患者延数（29 大学病院本院平均）は、令和2年4月は平成31年4月の 51,589 名から 12,514 名減の 39,075 名（前年同月比 24.3% 減）、同様に5月は 49,745 名から 14,514 名減の 35,231 名（前年同月比 29.2% 減）、6月は 50,719 名から 6,256 名減の 44,463 名（前年同月 12.3% 減）、7月は 54,282 名から 7,250 名減の 47,032 名（前年同月比 13.4% 減）、8月は 51,483 名から 7,370 名減の 44,113 名（前年同月比 14.4% 減）、9月は 48,914 名から 2,539 名減の 46,375 名（前年同月比 5.2% 減）、10月は 51,639 名から 2,852 名減の 48,787 名（前年同月比 5.5% 減）、11月は 49,109 名から 4,689 名減の 44,420 名（前年同月比 9.5%

【図1】新型コロナウイルス感染症患者の受入れ総数の推移について

日本私立医科大学協会調べ

■ 国立大学 ■ 公立大学 ■ 日本私立医科大学協会加盟29大学





減)、12月は51,235名から3,394名減の47,859名(前年同月比6.6%減)、1月は48,716名から5,152名減の43,564名(前年同月比10.6%減)となっている。(図2)

令和2年2月から令和3年1月までの外来患者延数(総数)は537,329名であり、前年同期間の総数608,454名と比較すると71,125名の減(前年同期間比11.7%減)となっている。

■入院患者延数について

入院患者延数(29大学病院本院平均)は、令和2年4月は平成31年4月の25,614名から4,392名減の21,222名(前年同月比17.1%減)、同様に5月は25,488名から5,942名減の19,546名(前年同月23.3%減)、6月は25,381名から4,174名減の21,207名(前年同月比16.4%減)、7月は26,211名から

2,919名減の23,292名（前年同月比11.2%減）、8月は26,238名から2,725名減の23,513名（前年同月比10.4%減）、9月は24,340名から1,514名減の22,826名（前年同月比6.2%減）、10月は25,576名から1,033名減の24,543名（前年同月比4.0%減）、11月は24,447名から1,431名減の23,016名、12月は25,562名から1,684名減の23,878名（前年同月比6.6%減）、1月は24,878名から2,079名減の22,799名（前年同月比8.1%減）となっている。（図3）

令和2年2月から令和3年1月までの入院患者延数（総数）は276,233名であり、前年同期間の総数304,921名と比較すると28,688名の減（前年同期間比9.4%減）となっている。

■手術件数について

手術件数（29大学病院本院平均）は、令和2年4月は平成31年4月の1,399件から384件減の1,015件（前年同月比27.4%減）、同様に5月は1,354件から520件減の834件（前年同月比38.4%減）、6月は1,379件から250件減の1,129件（前年同月比18.1%減）、7月は1,584件から122件減の1,462件（前年同月比7.7%減）、8月は1,528件から140件減の1,388件（前年同月比9.1%減）、9月は1,424名から27件減の1,397件（前年同月比1.9%減）、10月は1,606件から10件減の1,596件（前年同月比0.6%減）、11月は1,539件から82件減の1,457件（前年同月比5.3%減）、12月は1,503件から52件減の1,451件（前年同月比3.5%減）、1月は1,540件から201件減の1,339件（前年同月比13.1%減）となっている。（図4）

令和2年2月から令和3年1月までの手術件数（総数）は15,842件であり、前年同期間の総数17,600件と比較すると1,758件の減（前年同期間比10.0%減）となっている。

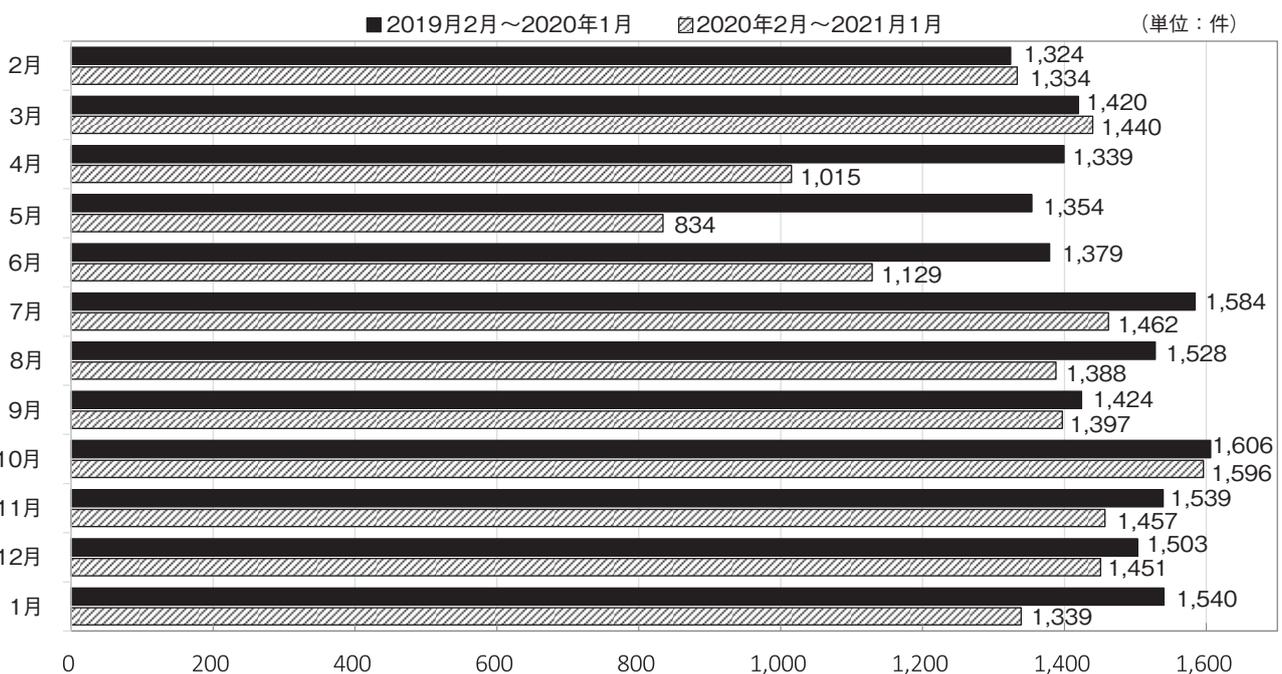
■救急受入れ件数について

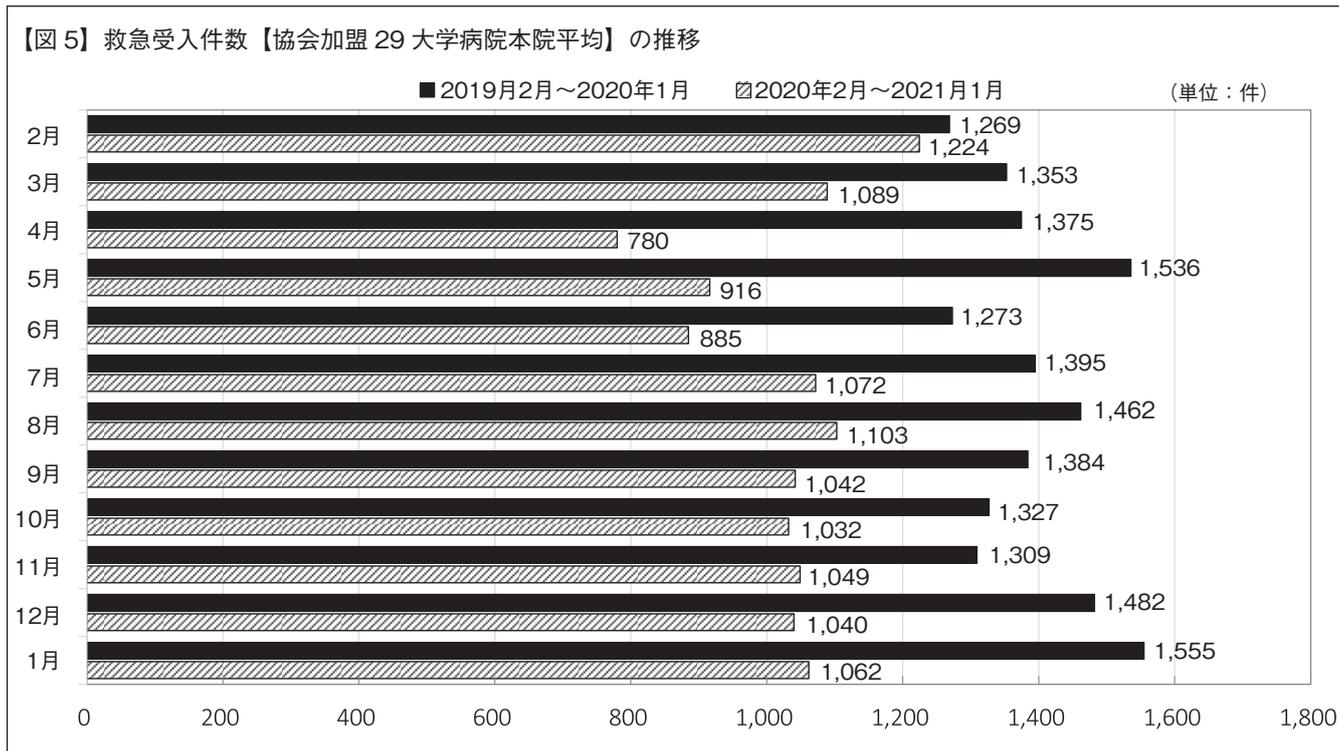
救急受入れ件数（29大学病院本院平均）は、令和2年4月は平成31年4月の1,375件から595件減の780件（前年同月比43.2%減）、同様に5月は1,536件から620件減の916件（前年同月比40.4%減）、6月は1,273件から388件減の885件（前年同月比30.5%減）、7月は1,395件から323件減の1,072件（前年同月比30.1%減）、8月は1,462件から359件減の1,103件（前年同月比24.5%減）、9月は1,384件から342件減の1,042件（前年同月比24.7%減）、10月は1,327件から295件減の1,032件（前年同月比28.6%減）、11月は1,309件から260件減の1,049件（前年同月比19.9%減）、12月は1,482件から442件減の1,040件（前年同月比29.8%減）、1月は1,555名から493名減の1,062名（前年同月比31.7%減）となっている。（図5）

令和2年2月から令和3年1月までの救急受入れ件数（総数）は12,294件であり、前年同期間の総数16,720件と比較すると4,426件の減（前年同期間比26.5%減）となっている。

新型コロナウイルス感染症患者を受入れている本協会加盟大学附属病院では体制整備（コロナ患者に対応するため、手術件数の抑制、病棟閉鎖、対応職員の増員並びに人件費負担、危険手当等の支給、患

【図4】手術件数【協会加盟29大学病院本院平均】の推移





者の移動動線設定のための施設改修工事等)を行って来た。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、医療機器、備品の整備、並びに医療消耗品の安定的供給確保に尽力し、厳しい財政状況にもかかわらず、誠意を持って国民が求めている本来の使命である高度医療の提供並びに地域医療の中核病院としての役割の維持にも努力している。

しかし、公的補助の少ない本協会加盟大学附属病院は、高質・綿密な医療の提供を行う多数の関係スタッフ人件費、最新・最高の最先端医療機器等の高額物件費並びに施設・設備費等を医療収入で賄うことが難しくなって来ており、不足分をやむをえず学校債や寄付金、借入金等で補って来ている経営状況である。国より令和2年度第1次補正予算、第2次補正予算、第3次補正予算、新型コロナウイルス感

染症緊急包括支援交付金がなされているが、十分な補填となっておらず、更なる財政支援の必要が望まれる。

新型コロナウイルス感染症に対応してきた本院29病院と分院55病院を合わせた84病院の収支を見ると、令和2年4月から令和3年1月までの期間に於ける医業収入は約1兆4,631億円であり、前年同期間の医業収入1兆5,356億円と比較して約725億円の減(前年同期間比▲4.7%)となっている。また、医業費用は約1兆4,802億円であり、前年同期間の1兆4,861億円と比較して約59億円の減(前年同期間比▲0.4%)となっている。令和2年4月から令和3年1月までの医業収支は対前年同期間と比較した場合、約667億円の赤字となっている。現時点に於いても大変厳しい経営状況にある。(表1)

【表1】協会加盟大学附属病院(84病院)(本院29病院・分院55病院84)における医業収支(総額)について

(単位:千円)

	2019年4月～2020年1月	2020年4月～2021年1月	差額	前年比(%)
医業収入	1,535,660,505	1,463,126,995	▲72,533,510	▲4.7
医業費用	1,486,050,458	1,480,169,057	▲5,881,401	▲0.4
医業収支	49,610,047	▲17,042,062	▲66,652,109	

日本私立医科大学協会調べ

## Ⅱ. 自由民主党「大学病院を支援する議員連盟」(会長：河村建夫衆議院議員)について

令和2年4月30日、新型コロナウイルス感染症における対応状況に関するヒアリングと議連としての決議を行う「大学病院を支援する議員連盟役員会」(以下、議連役員会)が開催された。本協会は、「加盟大学附属病院は、高度先進医療を行う本来の使命を維持しつつ、外来診療や手術の抑制、一般入院患者数の調整、救急医療の維持をしながら新型コロナウイルス感染症に対応して国民医療に誠意をもって最大限の努力を注いできた」旨の報告と要望を行い、議連役員会は緊急決議を行った。

令和2年6月5日、第15回大学病院を支援する議員連盟総会が開催された。本協会は、新型コロナウイルス感染症の対応状況に関する報告を行うと共に、医学部学生の診療参加型臨床実習の中断によ

て卒業要件が満たすことができなかった場合、その結果として地域医療維持のための救急医療や診療応援もできなくなり、その地区の「地域医療崩壊」に直結する重大な事態になることも明らかであることを説明すると共に、「1. 新型コロナウイルス感染症患者を受入れた大学病院に対する実質経費負担分の補填について、2. 教育について」要望書を提出した。

文部科学省高等教育局医学教育課大学病院支援室より、令和3年5月25日に、「大学病院における新型コロナウイルス感染症対応について」を議題とする第16回大学病院を支援する議員連盟総会が開催される予定であることの連絡があった。

## Ⅲ. 自由民主党「医師養成の過程から医師偏在是正を求める議員連盟第9回総会」(会長：河村建夫衆議院議員、事務局長：自見はなこ参議院議員)(令和2年12月8日開催)について

令和2年12月8日、自由民主党「医師養成の過程から医師偏在是正を求める議員連盟第9回総会」がオンライン会議にて開催された。全国自治体病院協議会(会長：小熊 豊砂川市立病院名誉院長)並びに「地域医療を担う医師の確保を目指す知事の会」に対して「地域医療での医師確保の必要性」をテーマとしたヒアリングが行われた。

ヒアリングの後、厚生労働省から、医師臨床研修部会における地域医療研修の検討状況についての説明が行われた。続いて文部科学省から大学病院に勤務する教員の労働条件等に関するアンケート調査結果が報告された。協議の結果を踏まえ、本議連は、「地域医療の安定のための医師養成制度改革」に関する要望書を翌9日に厚生労働大臣、文部科学大臣、総務大臣宛に提出した。

主な要望内容は以下の通り。

- ①卒前教育における臨床実習をより充実したものとするため、臨床実習前の共用試験(CBT、OSCE)を公的なものとし、いわゆる Student Doctor の法制化を行うこと。
- ②医学部教育と臨床研修をシームレスにつなぐため、技能試験の導入をもって医師国家試験を抜本的に見直し、その出題は診療参加型臨床実習に則したものを中心とし、共用試験 CBT との差別化

が図られるよう、5年以内に検討を進めることを附則等に書き込んで担保すること。また、臨床実習後に実施する OSCE について、将来的な公的化を見据え、医療系大学間共用試験実施評価機構(CATO)の体制整備も含め、質の向上を図ること。

- ③地域におけるニーズと地域の教育研修体制を踏まえた上で、臨床研修2年目における地域医療研修の期間について半年間を目途に義務化することを含め、臨床研修制度が医師偏在是正にも貢献する制度とすること。その際、指導医の確保についても十分に配慮すること。
- ④臨床研修制度における対応に必要な地域のニーズや教育研修体制に関する調査等を早急に実施し、地域医療研修の在り方について検討すること。
- ⑤現下の新型コロナウイルス感染症の情勢を十分に見極めた上で、今後の医師の働き方改革、地域医療構想を含めて見据え、臨床研修、専門研修、及びその後の過程を含めた医師養成過程全体を通して検討及び実施した際に、真に実効性のある偏在対策ともなるように行うこと。

同要望書提出の翌日10日には、厚生労働省医師臨床研修部会は、地域医療研修を行う地域・期間・研修内容・指導医の配置などを調査する研究班を発足させることを決定した。

【自由民主党「大学病院を支援する議員連盟」による緊急決議】

大学病院における新型コロナウイルス感染症対策の強化に関する緊急決議

我が国において新型コロナウイルス感染症感染者が急増する中、大学病院は高度医療を提供する地域の中核的医療機関として、昼夜を問わず重症患者をはじめ、多くの患者の治療にあたっている。新型コロナウイルス感染症を克服するため、大学病院が今後その機能を果たしていくためには、患者はもとより医療従事者の安心・安全の確保や大学病院が安定的に経営されることが必要不可欠である。

そのため、令和二年度第一号補正予算(案)では「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金(仮称)」や「新型コロナウイルス感染症の克服に向けた高度医療人材養成」が、令和二年度予算費では診療報酬の特例加算が計上されているものの、未知の感染症である新型コロナウイルス感染症の終息時期がまだ見通せない状況にある中、長期化にも対応できるよう大学病院の機能強化を図ることが急務である。

また、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れるため病棟閉鎖や外来診療の中止等により大学病院の経営にも大きな影響が生じている。この困難に乗り越えるため、政府においては左記の事項について緊急に具体的対応を講ずべきである。

- 一 新型コロナウイルス感染症患者の受入れ体制の早期確立
  - 医療崩壊を防止するため、患者の症状(軽症・中等症・重症)に対応して適切な層別化を行い、軽症は自宅や宿泊施設、中等症は一般病院、重症患者は大学病院や感染症指定医療機関等で治療に当たる等、地域主導による機能分化・医療体制を早期に構築すること。
- 一 予防的PCR検査の保険適用
  - 院内感染を防ぐ水際対策として、無症候の患者に対する新型コロナウイルスのPCR検査の保険適用を早急に実施すること。
- 一 医療従事者が安全・安心に診療に専念できる環境の整備
  - 医療従事者の安全を守り、医療提供体制を維持するため、マスク、ガウン等の個人防護具の安定的供給や医療安全体制の強化を図るとともに、医療従事者の心のケアや保育に対する支援を行うなど、医療従事者が安全・安心に診療に専念できる環境の整備に対する支援を行うこと。

- 一 新型コロナウイルス感染症対策に必要な医療機器や設備等の整備
  - 患者数の増加に対応するため、新型コロナウイルス感染症対策に必要な人工呼吸器等の医療機器や簡易陰圧室、簡易診察室等の設備等の整備に対する支援を行うこと。

- 一 新型コロナウイルス感染症対応に伴う診療制限などにより生じた減収などの影響額に対する財政支援
  - 新型コロナウイルス感染症対策のため外来や手術件数を抑制するなど業務内容を変更したことに伴う収入の減少により、大学病院の資金繰りが悪化し、医療提供に支障が生じる事態に陥ることがないよう、経営の安定を促すための措置を講ずること。

- 一 新型コロナウイルス感染症等の感染症に対応することができる高度医療人材の育成
  - 不足が指摘される体外式膜型人工肺(ECMO)治療等を担う専門人材の養成に早急に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症の経験を活かし、今後も発生が想定される未知の感染症にも対応できるよう、感染制御学や公衆衛生学等の高度医療人材の育成を図ること。

右、決議する。

令和二年四月三十日

大学病院を支援する議員連盟

## 政府、関係省庁の動き

令和2年1月30日	新型コロナウイルス感染症対策本部設置（閣議決定）
令和2年2月7日	厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード設置
令和2年4月7日	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県の1都1府5県に対して、緊急事態宣言（第1回）を発出（期間：4月7日から5月6日まで）
令和2年4月16日	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（第1回）の区域変更（対象区域：全都道府県）
令和2年4月30日	厚生労働省、文部科学省は新型コロナウイルス感染症対策にかかる第1次補正予算を計上し、交付した。
令和2年5月4日	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（第1回）の期間延長（期間：5月7日から5月31日まで）
令和2年5月14日	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（第1回）の区域変更（対象区域：北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、京都府、大阪府及び兵庫県）
令和2年5月21日	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（第1回）の区域変更（対象区域：北海道、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）
令和2年5月25日	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（第1回）解除
令和2年6月12日	厚生労働省、文部科学省は新型コロナウイルス感染症対策にかかる第2次補正予算を計上し、交付した。
令和2年7月3日	新型コロナウイルス感染症対策分科会設置（所管：内閣官房）
令和2年9月15日	厚生労働省は第1次、第2次補正予算に加え、新型コロナウイルス感染症に対応した医療機関等への更なる支援（予備費：1兆1,946億円）を公表した。
令和3年1月7日	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（第2回）を発出（対象区域：埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県の1都3県）（期間：1月8日から2月7日まで）
令和3年1月13日	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（第2回）の区域変更（追加区域：栃木県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県及び福岡県）
令和3年1月28日	厚生労働省、文部科学省は新型コロナウイルス感染症対策にかかる第3次補正予算を計上し、交付した。
令和3年2月2日	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（第2回）の期間延長及び区域変更（対象区域：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県）（期間：2月8日から3月7日まで）
令和3年2月26日	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（第2回）の区域変更（対象区域：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）
令和3年3月5日	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（第2回）の期間延長（期間：3月8日から3月21日まで）
令和3年3月21日	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（第2回）解除
令和3年4月5日	宮城県にまん延防止等重点措置発出（期間：4月5日から5月11日まで）
令和3年4月12日	沖縄県にまん延防止等重点措置発出（期間：4月12日から5月31日まで）
令和3年4月20日	埼玉県、千葉県、神奈川県にまん延防止等重点措置発出（期間：4月20日から5月31日まで）
令和3年4月23日	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（第3回）（対象区域：東京都、京都府、大阪府、兵庫県）（期間：4月25日から5月11日まで）
令和3年4月25日	愛媛県にまん延防止等重点措置発出（期間：4月25日から5月31日まで）
令和3年5月7日	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（第3回）の期間延長及び区域変更（対象区域：東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県）（期間：令和3年4月25日（愛知県及び福岡県については、同年5月12日）から5月31日まで）
令和3年5月9日	北海道、岐阜県、三重県にまん延防止等重点措置発出（期間：5月9日から5月31日まで）

#### IV. 医師の働き方改革について

令和2年12月22日、厚生労働省は「医師の働き方改革の推進に関する検討会」（座長：遠藤久夫学習院大学経済学部教授）における議論を経て、「中間とりまとめ」を公表した。

主たる勤務先である大学病院での勤務時間が週60時間（年間時間外・休日労働960時間換算）の範囲内に収まる医師は全体の76.2%であるが、兼業先での勤務時間を通算すると週60時間を超過する医師が全体の23.3%と、大学病院以外の医師よりもその割合が高いと示されており、これらも大学病院特有の問題であるとして、今後の検討課題とされた。

医師の働き方改革には教育・研究の在り方、医師の時間外労働の上限規制、人事配置並びに人件費の在り方（労働基準法との関係）、システム改修費、働き方改革に伴う諸経費の財政負担等の多くの問題点が挙げられる。

「中間とりまとめ」において、大学病院の医師の働き方に関する議論が進んでいないことへの懸念があることから、大学病院については文部科学省と厚生労働省が連携し、大学病院特有の課題について検討の場を設けることを明記した。

令和3年1月18日から開会した第204回通常国会において、厚生労働省は医事法制・医療政策上の措置が必要な項目等について関連法案を提出した。

本協会は「中間とりまとめ」に関するアンケート調査結果を取りまとめた。本アンケート結果では、加盟各大学から多岐に亘る意見が届いていることを踏まえ、本協会が提案している教育・研究の在り方、医師の時間外労働の上限規制、人事配置並びに人件費の在り方、システム改修費、働き方改革に伴う諸

経費の財政負担等の課題について、全国医学部長病院長会議とも協働して検討し意見を取りまとめ、関係省庁に対して要望していくこととした。

全国医学部長病院長会議（会長：湯澤由紀夫藤田医科大学病院長）は、医師の働き方改革に関して現時点で決まっていること、準備すべきこと等について情報を共有するため「医師の働き方改革緊急セミナー（第1回）」をオンラインにて令和3年2月16日に開催した。

セミナーの主な内容は以下の通り。

- ①医師の働き方改革について
- ②医師の働き方改革について（労働時間法制解説編）
- ③大学病院における医師の働き方改革について
- ④医師の働き方改革に関するアンケート調査結果
- ⑤総合討論・質疑応答

令和3年5月7日、全国医学部長病院長会議は、「第2回医師の働き方改革セミナー」をオンラインにて開催した。

第2回セミナーの主な内容は以下の通り。

- ①母性健康管理措置及び母性健康管理指導事項連絡カードについて
- ②医師の働き方改革：医師の勤務実態把握
- ③医師の働き方改革：制度開設等
- ④総合討論・質疑応答

全国医学部長病院長会議は、本協会の明石勝也総務経営部会担当副会長並びに小山信彌協会参与が参画して、医師の働き方改革にあたっての財政支援、問題点の解決に向けて、国と関係省庁である文部科学省、厚生労働省と協議・検討を行うこととしている。

#### V. 日本病院団体協議会について

本協会を含む15病院団体が加盟する日本病院団体協議会（令和2年度議長：相澤孝夫日本病院会会長）は、令和3年度議長の選出に際して、第192回代表者会議（令和2年12月18日開催）において、齊藤正身日本リハビリテーション病院・施設協会会長が推薦され、代表者会議は全会一致にて承認した。

更に、第194回代表者会議（令和3年2月26日開催）では、齊藤正身令和3年度議長より、副議長として小山信彌本協会病院部会担当業務執行理事（現協会参与）の推薦があり、代表者会議は全会一致にて承認した。

地球の健康とすべての人々の  
健康で豊かな生活に貢献したい。  
それが私たちスズケンの  
壮大なテーマです。

 **SUZUKEN**  
<http://www.suzuken.co.jp>



すべての人に、いきいきとした生活を  
創造しお届けします。

*alfresa*

**アルフレッサ株式会社**

〒101-8512東京都千代田区神田美土代町7番地 住友不動産神田ビル13F・14F TEL.03-3292-3331 (代)



広く、そして深く…。  
アウトソーシングの専門企業として  
レベルの高い、新しいサービスを追及しています。

中材業務・看護補助業務・手術部環境保全業務/  
人材派遣・病院清掃/その他

**株式会社 日経サービス**

本社 〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目17番10号 南船場NSビル  
TEL: 06-6268-6788 (代表) FAX: 06-6268-0388

東京支店 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2丁目3番13号 鈴木ビル  
TEL: 03-5283-0061 FAX: 03-5283-0062

<http://www.nikkei-service.co.jp>

一般社団法人日本私立医科大学協会 賛助会員一覧（※順不同）

中外製薬株式会社	株式会社スズケン	大塚製薬株式会社
田辺三菱製薬株式会社	株式会社メディセオ	株式会社 LIXIL
エーザイ株式会社	武田薬品工業株式会社	近藤工業株式会社
アステラス製薬株式会社	大鵬薬品工業株式会社	株式会社メディカルファーマシー
アルフレッサ株式会社	パラマウントベッド株式会社	メディアスホールディングス株式会社
第一三共株式会社	協和キリン株式会社	パラテクノ株式会社
塩野義製薬株式会社	株式会社 LSI メディエンス	株式会社エイチ・イー・エルシステムズ
大日本住友製薬株式会社	株式会社アルメックス	株式会社 EPARK
東邦薬品株式会社	株式会社ホスピタルヘルスケア	株式会社日経サービス
Meiji Seika ファルマ株式会社	テルモ株式会社	グリーンホスピタルサプライ株式会社
今井印刷株式会社		

全ては健康を願う人々のために



わたしたちは社会・顧客と共生し、  
独創的なサービスの提供を通じて  
新しい価値を共創し、世界の人々の  
医療と健康に貢献します。

共創未来グループ  
**東邦薬品株式会社**

〒155-8655  
東京都世田谷区代沢 5-2-1  
TEL.03-3419-7811  
<http://www.tohoyk.co.jp/>

**Amenity Scape Creation 快適空間の創造**

みとりのこもみる

日比谷アメニスでは、ところにやさしい環境を求めて快適空間を創造し  
ゆとりある社会の実現に向けて努めます。



**株式会社 日比谷アメニス**

東京都港区三田4-7-27 〒108-0073  
TEL.03-3453-2401 FAX.03-3453-2426  
URL <http://www.amenis.co.jp>

東関東支店：千葉県千葉市稲毛区轟町 5-7-32 Tel：043-254-1122  
仙台支店：宮城県仙台市青葉区二日町 13-18-605 Tel：022-217-0252  
名古屋支店：愛知県名古屋市中区錦 2-10-13 SC 錦 ANNEX6F Tel：052-229-0137  
大阪支店：大阪府大阪市西区江戸堀 1-8-14 Tel：06-6441-6041  
九州支店：福岡県福岡市博多区住吉 1-2-25 Tel：092-282-2881



広報誌 **医学振興**

第 92 号

令和 3 年 5 月 20 日発行

発行人 小 川 彰  
編 集 一般社団法人 日本私立医科大学協会  
広報委員会  
〒 102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25  
私学会館別館 1 階  
TEL(03)3234-6691 FAX(03)3234-0550  
印 刷 今井印刷株式会社

< 広報委員会 >

担当副会長	明石勝也
担当理事	永田見生
委員 長	永田見生
委員 員	栗原敏司
委員 員	小口勝孝
委員 員	田尻孝子
委員 員	冲永寛子